

募集要項

全国学校・園庭



ビオトープコンクール 2025

ビオトープに取り組む
学校・園を大募集!

5.31  しめきり



|| 主催 ||

公益財団法人
 日本生態系協会

|| 後援 ||

文部科学省、環境省、国土交通省、農林水産省、子ども家庭庁、ドイツ連邦共和国大使館、全国国公立幼稚園・こども園長会、全日本私立幼稚園連合会、(福)全国社会福祉協議会、全国保育協議会、(福)日本保育協会、(公社)全国私立保育連盟、NPO法人全国認定こども園協会、全国小学校理科研究協議会、全国小中学校環境教育研究会、(一社)日本保育学会、(公社)こども環境学会、(一社)日本環境教育学会、(公社)日本ナショナルトラスト協会、日本ビオトープ管理士会

応募のしかた

BIOは生きもの、TOPは空間。BIOTOPとは、野生の生きものが生息している場所・空間のことを言います。

森や林、草はら、池、小川、浜辺など、自然の中には本来、いろいろなタイプのビオトープが豊かにあるものです。これらの自然のビオトープは、目先の経済など大人の都合を優先したまちづくりが行われた結果、徐々に姿を消してしまいました。今の日本は、山にも身近な場所にもみどりはあるものの、健全な自然は少ししかありません。国土の68%が森林に覆われていると言われてはいますが、実は自然の森は18%ほどしかなく、草はらや水辺などを加えても自然の土地は20%程度、“みどり”はあっても“自然”はないのです。

しかし、子どもたちの健全な成長のためには自然とのふれあいが必要です。地域の自然をお手本とする「学校ビオトープ」や「園庭ビオトープ」が身近にあれば、日常的に自然とふれあうことができます。また、学校・園庭ビオトープをつくることで自然が少しずつ増えていき、ビオトープ同士を自然でつないでいけば、地域の自然を守り、さらにもっと増やすことができます。渡り鳥が訪れてくれたなら、学校・園庭の自然が世界とつながっていることを実感できるでしょう。そして、ビオトープをめぐる取組は、人と人との強い絆でつないでいきます。

学校・園庭ビオトープの活動は、SDGsを達成に導く近道です。より良い日本と世界をつくるため、この活動を広げましょう。

エントリーのしめきり

5/31^土 24時

メール等での送信・消印有効

- ・まずは参加の意思表示。エントリーは、公式サイト「エントリーフォーム」から行ってください。お送りいただくのは、学校・園の基礎情報や、担当者の連絡先などです。
- ・メールや郵送の場合は、「エントリーシート」に必要な事項をご記入のうえお送りください。A4判の紙が1枚のみです。(送料はご負担ください)

審査対象は、すべての学校ビオトープに取り組む学校、園庭ビオトープに取り組む園です。

- ・教育や保育が行われる、いわゆる「学校」や「園」ならば、すべてが審査対象です。
認定こども園、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校...
- ・学校ビオトープや園庭ビオトープをつくり、活用を行っているならば、どのような事例もご応募いただけます。
- ・このコンクールは、ビオトープのおまつりです。いままでに受賞したことのある学校や園も、もちろんご応募ください。

これまでのコンクールでは こんな学校や園が参加！

「取り組みシート」ほか
活動内容の分かる資料のしめきり

6/20^金 24時

メール等での送信・消印有効

・エントリーしたあと、「取り組みシート」を、期日までにお送りください。

・「取り組みシート」は、幼稚園・保育所・こども園用、小・中・高校用、大学用の、三種類があります。該当するものをご提出ください。

・ほか、参考資料として、ビオトープようすが分かる写真(必須。下を参照)、授業計画やビオトープの活動、活動を通じての子どもたちの成長などが分かる資料(既存の制作物可)をお送りください。

・メール、大容量ファイル送信サービス、郵送、いずれも受付可能です。

- ① 記入済みの 取り組みシート
- ② ビオトープのようすが分かる 写真
- ③ 活動のようすが分かる 資料

「②ビオトープのようすが分かる写真」は
以下のものをお送りください

ビオトープ
全体の様子が分かる
遠めの写真

ビオトープの
特徴的な部分
をアップで
撮影した写真

ビオトープで
工夫した部分
をアップで
撮影した写真

写真は、「ビオトープ自体がどのようなものなのか」を確認するためのものです。子どもたちの活動やイベントなどのようす、生きものの写真などについては、「③活動のようすが分かる資料」に含めてください。

少し狭いけれど
園児は大の…
お気に入り

みんな頑張る！
荒れ放題だった
学校ビオトープが…
復活

保護者や
地域の方々が…
熱心

訪れてもらいたい
生きもののために…
試行錯誤

エントリーフォーム(エントリーシート)、
発達段階別の「取り組みシート」3種類、
応募にあたってのおたすけ動画、
お問い合わせ…

必要なものは「公式サイト」にあります。



「バイオコン」で検索
www.biotopcon.org

問
い
合
わ
せ
・
送
付

(公財)日本生態系協会
全国学校・園庭ビオトープコンクール係

〒171-0021
東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル
biocon@ecosys.or.jp
☎ 03-5951-0244

審査観点

審査は、学校・園庭ビオトープを通じて環境教育や自然体験活動を進めていく際の“ポイント”を6つの観点に整理し、それをもとに行います。

- ・地域の自然をお手本とし、地域の生きものが暮らしやすいように工夫しているか。
- ・(特に小学生においては)取組全体を通じ、子どもたちが積極的に、主体的に関わっているか。
- ・取組全体を通じ、保護者や地域住民、環境NGO、行政機関、団体・企業などと継続的に連携をしているか。
- ・子どもたちの豊かな感性を育むために、学校・園庭ビオトープを積極的に活用しているか。また、様々な教科や特別活動で、広く教材として活用しているか。
- ・学校・園庭ビオトープを育成管理し、活用を継続するための、体制が整っているか。
- ・取組を地域に発展させ、ビオトープのネットワークや人のつながりを広げていく視点を持っているか。

賞と位置付け

賞は、大きく3種類、用意されています。

上位5賞

学校・園庭ビオトープの実践モデルとなる優れた取組を行うものを表彰し、これを広く紹介します。そのなかでも特に際立って秀でていると評された特徴をもとに、右の5つの賞が決定されます。

優秀賞

総合的に優れた取組を行うものを表彰し、これを広く紹介します。

学校・園庭ビオトープ賞

学校・園庭ビオトープを設けて熱心に活用するものを讃え表彰します。

文部科学大臣賞

実践モデルとなる優れた取組を行うもののうち、特に体験活動や学習活動の内容・成果で秀でているものを表彰し、これを広く紹介します。

環境大臣賞

実践モデルとなる優れた取組を行うもののうち、特に野生の生きもののすむ「ビオトープ」の質が秀でているものを表彰し、これを広く紹介します。

国土交通大臣賞

実践モデルとなる優れた取組を行うもののうち、特に人と自然が共存するまちづくりにつながる点で秀でているものを表彰し、これを広く紹介します。

ドイツ大使館賞

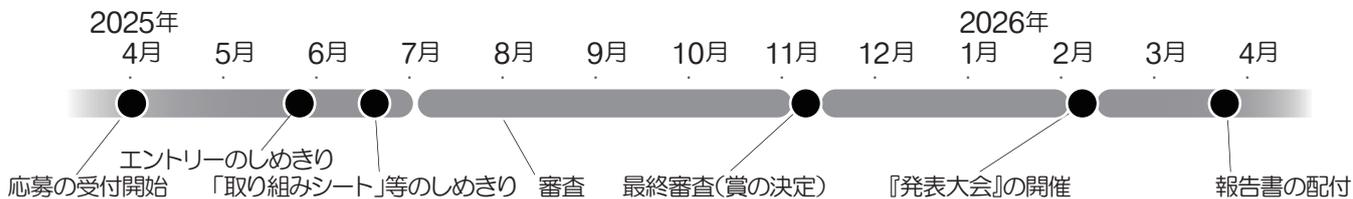
実践モデルとなる優れた取組を行うもののうち、特にユニークな体験・学習活動を行っているものを表彰し、これを広く紹介します。

日本生態系協会会長賞

実践モデルとなる優れた取組を行うもののうち、特に地域とのパートナーシップの観点で秀でているものを表彰し、これを広く紹介します。

上位5賞の位置付けには優劣はなく、また、発達段階の枠にとらわれるものでもありません。

スケジュール



応募の受付

- ・4/1(火) 募集開始
- ・5/31(土) エントリーのしめきり
- ・6/20(金) 「取り組みシート」ほか活動のようすが分かる資料のしめきり

審査

- ・書類をもとに、「審査観点」に沿って審査を行います。
- ・審査の過程で、電話での質問や追加資料提出のお願い、訪問などによる補足調査※を、必要に応じて行います。(応募者全てではありません)

賞の決定

- ・11月に予定される「中央審査委員会」を経て、大臣賞などの上位5賞をはじめ各賞が決定されます。
- ・結果は各校・園に個別に通知されるほか、公式サイトや報道機関などを通じて広くお知らせします。

発表大会

- ・コンクール2025の締めくくりとして『発表大会』を開催します。

報告書の配付

- ・学校・園庭ビオトープを普及するためのさまざまな活動のひとつとして、学校・園庭ビオトープの実践モデルの概要や取り組みのポイントをまとめた「報告書」を作成し、2026年3月末頃より無償配付します。(予定)

※ 補足調査は、生態学や環境教育に明るい学識経験者、ビオトープ管理士などの専門家により行われます。

全国学校・園庭ビオトープコンクール2025

発表大会

2026年2月上旬、都内での開催を予定

内容 表彰式

上位5賞の受賞校・受賞園による事例の発表
学校・園、団体・企業などによるポスター発表

前回は秋篠宮皇嗣殿下並びに悠仁親王殿下にも御臨席いただいた発表大会。

上位5賞の受賞校・受賞園による「実践事例の発表」のほか、受賞校・受賞園、学校・園庭ビオトープの取組支援を行う企業、ビオトープを守り再生する団体も交えた「ポスター発表」もあわせて行います。

コロナ禍がようやく明けた、コンクール2023の発表大会。
上位5賞の事例発表のようす(上)と、表彰式のようす(下)。



ビオトープづくりのコツ 自然のものと自然ではないもの

「自然のもの」の例 ※

シジュウカラ、ツバメ、
アマガエル、ニホントカゲ、
アゲハチョウ、ヤマトシジミ、
カブトムシ、ナナホシテントウ、
アブラゼミ、エンマコオロギ、
オオカマキリ、オンブバッタ、
シオカラトンボ、ドジョウ、メダカ、
ホトケノザ、スギナ(つくし)、
スミレ、カタバミ、ガマズミ、
エノコログサ、ススキ、ヤマハギ、
フジバカマ、アケビ、カラスウリ、
ヤマザクラ、コナラ、エゴノキ
…など、
もともと地域に生活している
さまざまな野生の生きもの

「自然ではないもの」の例

飼育・愛玩動物

にわとり、チャボ、
あひる、あいがも、
インコ、ぶんちょう、
ハムスター、
モルモット、
フェレット、
いえうさぎ、
犬、猫、
馬、牛、ひつじ、やぎ、
金魚、錦鯉、
ヒメダカ

…など

園芸種、農作物

コスモス、ひまわり、
チューリップ、パンジー、
あさがお、おしろいばな、
稲(米)、大根、人参、
ねぎ、ゴーヤ、ピーマン、
トマト、ミニトマト、
キャベツ、とうもろこし、
じゃがいも、さつまいも、
かぼちゃ、いちご、
さくらんぼ、みかん、
ブルーベリー、
桜(ソメイヨシノ)、
芝生 …など

外来種

アメリカザリガニ
ウシガエル
外国産のクワガタムシ
アライグマ
ブラックバス
ブルーギル
ゲンゲ(レンゲ)
シロツメクサ
セイタカアワダチソウ
オオキンケイギク
キシノウエ
クレソン
ホテイアオイ
シダレヤナギ …など

* この「自然のもの」の例は、主に関東地方の平野部を基準としたものです。
日本の自然は実に多様で、同じ種であっても地域によっては「自然ではないもの」になってしまう場合がありますので、まずはご自身の住む地域の自然について調べてみましょう。

「自然のもの」とは、「在来種」のこと

「自然のもの」とは、遠い昔からその土地で生活している野生の生きもの、在来種と呼ばれているものです。

ですから、人の手で作り出して育てている花壇の園芸種や、田畑の農作物、ペット、家畜・家禽、海外から進入してきた外来種、たとえ国内であっても離れた土地から持ってきた移入種などは、「自然のもの」ではありません。

地域の自然は、世界に二つとない

自然は、その地域ならではの気候や地形、土壌や水の質、日光の具合などの条件と、それに適した野生の生きものたちで成り立っています。

地域の自然はそこだけのオリジナルであり、全く同じものは世界中のどこにもありません。「自然のもの」と「自然ではないもの」の違いは、そこから生じたものなのです。

学校・園庭ビオトープ ふりかえりシート

ビオトープについて

- 生物多様性を守るために、また、子どもたちの正しい自然観を培うために、自然のもの(在来種)と自然ではないもの(愛玩動物、農作物、園芸種、外来種)を区別している?
- (規模にかかわらず)目標とする野生の生きものの誘致や自然発生を目指して、課題を見いだしながら工夫している?

子どもの関わりについて

- (特に幼児教育や保育の場合)自然とのふれあいをきっかけとして、遊びに発展性や他の活動への展開が見られる?
- 自然とのふれあいにとどまらず、野生の生きものの生育・生息しやすい環境づくりや、他の子どものビオトープへの関心を高める普及活動などへと発展している?

ビオトープの活用について

- 各学年、各教科等の教育課程に、ビオトープを通じた学習を系統立てて位置づけている?
- 子どもの気付きや探究する態度を培う工夫をしている?
- (幼児教育や保育の場合)園庭の自然の様子、園児の活動、そのときの援助の内容などを継続的に記録し、振り返り、次年度にいかしている?
- 体験活動や学習活動による子どもの成果物が蓄積され、授業の結果をいかしている?

保護者や地域の方々の関わりについて

- ビオトープのことを、子どもが地域の人々とともに働く場ととらえ、子どもが人々の想いや考えを体感する機会と位置づけている?
- 身近な人々と継続的に連携しながら、管理を行っている?

持続的な管理活用の体制づくりについて

- 教職員全員がビオトープを通じた教育に携わっている?
- 教員間、児童・生徒間で、ビオトープに関する活動の引継ぎが行われている?
- PTAや地域で、ビオトープの管理活用を支える体制が整っている?

地域への広がりについて

- ビオトープと地域の自然との比較がなされている?
- ビオトープが地域の自然につながっていることの必要性について、気付きを促している?
- 学校・園庭ビオトープの地域での普及、もしくは、自然との共存という考えの普及に貢献している?

学校ビオトープ・園庭ビオトープの取り組みを、このシートを使ってふりかえってみましょう。

ご自身の取り組みについて、これまで気付かなかった良いところ・改善した方が良いところなどが発見できます。

コンクールへの応募は、
これまでががんばってきたことの振り返りと
今後の展開を考える良い機会となります。

また、

子どもたちがビオトープの良さを見直す、
保護者や地域の方々にもっと関心を寄せていただく、
ビオトープ管理士などの専門家とつながれる、
…などのきっかけにもなります。

体育館や図書室と同じように

全ての学校・園にビオトープを――。

2年に一度の「ビオトープのおまつり」に
ぜひご応募ください。

ドイツで考案された学校ビオトープ・園庭ビオトープを
わが国に紹介してはや40余年。日本生態系協会は、
さまざまな団体・企業の後援や協賛、市民のみなさま
のご寄付に支えられ、『全国学校・園庭ビオトープコン
クール』を開催しています。

